

授業 科目	UC2D20	2単位	選択	講義	2学年前期	担当 教員	専任講師 佐藤高博					
	教育相談											
授業の概要	① カウンセリングマインドをもって子どもや親とかわることが出来るようになることを目標とする。 ② 特に、子どもや親とのかわりに必要な、基本的な態度や基本的なコミュニケーションスキルを身につけることを重視する。 ③ 講義の授業ではあるが、随時演習を行う。 ④ 演習は、個人で行うものだけでなく、グループで話し合うものもあるので、積極的に参加すること。											
	到達目標			学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ		
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	1. 自分や他者に対する理解を深めることができる。			◎	◎	◎			◎		○	○
	2. 子どもを理解する視点を身につけ、カウンセリングマインドについて理解したうえで、子どもとかわれるようになる。			◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	○
3. 保育カウンセリングに必要な基本的なコミュニケーションを身につけ、親への対応へ活かせるようになる。			◎	◎	◎		○	◎		◎	○	
4. 子ども、保護者、同僚との関係で生じるストレスに対処できるようになる。			◎	◎	○		○	○	○	○	○	
凡例 ◎: 学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○: 学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はVページ参照												
	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標				復 習					
1	オリエンテーション 教育相談とは	シラバスに目を通しておく 教科書第1章に目を通しておく。	授業の進め方と評価の方法を理解する。 臨床心理学と保育・教育相談について理解する。 カウンセリング・マインドの重要性を理解する。				学んだことを自分なりにまとめる。					
2	自分を知る(1)	教科書第4章第2節を読んだ上で、自分の性格や行動パターンについて考えておく。	自己覚知の重要性を理解する。 自分の性格や感情、思考、行動の傾向や価値観について考察する。				学んだことを自分なりにまとめる。					
3	自分を知る(2)	前回の結果をふまえた上で、自分の性格や行動パターンについて考えておく。	自己覚知の重要性を理解する。 自分の性格や感情、思考、行動の傾向や価値観について考えられるようになる。				学んだことを自分なりにまとめる。					
4	他者を理解する	自分の価値観について考えておく。	価値観の多様性について理解する。 共感的理解について理解する。				学んだことを自分なりにまとめる。					
5	他者との関係を理解する	自分の対人関係、他の人とのかわり方について考えておく。	対自関係、二者関係、三者関係について理解する。 自分の対人関係、対人態度について考えられるようになる。				学んだことを自分なりにまとめる。					
6	子どもを知る(1)	教科書第2章第1節に目を通しておく。	子どもを知る視点を理解する。 子どもの発達について理解する。				学んだことを自分なりにまとめる。					

7	子どもを知る (2)	教科書第2章第2節、第3節に目を通しておく。	アセスメントの方法について理解する。 観察法について理解する。 心理検査について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
8	子どもへの臨時的なかわり	教科書第3章に目を通しておく。	臨床心理学的なかわりの基本を理解する。 心理療法の基礎理論について理解する。 さまざまな心理療法について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
9	カウンセリングの基礎 (1)	教科書第4章第1節に目を通しておく。	言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションについて理解する。 傾聴について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
10	カウンセリングの基礎 (2)	受容と共感について調べてくる。	受容と共感について理解する。 子どもとかわるカウンセリングテクニックについて理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
11	気になる子どもへのかかわり方	教科書第5章に目を通しておく。	気になる子どもへのかかわり方について理解する。 気になる・困った行動への対応について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
12	気になる保護者へのかかわり方	教科書第6章に目を通しておく。	気になる保護者へのかかわり方について理解する。 基本的な面接技法について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
13	保育者自身のストレスへの対処 (1)	自分のストレスについて考えてくる。	保育者のストレスについて理解する。 ストレス発生のしくみを理解する。 自分のストレスについて認識できるようになる。	学んだことを自分なりにまとめる。
14	保育者自身のストレスへの対処 (2)	自分のストレス発散方法について考えてくる。	怒り・イライラとの付き合い方を身につける。 自律訓練法・動作法について理解する。 簡単なリラククス方法を身につける。	学んだことを自分なりにまとめる。
15	保育者自身のストレスへの対処 (3)	自分がストレスを感じたときの思考の傾向を考えてくる。	解決志向アプローチについて理解する。 認知療法・論理療法について理解する。 考え方を修正する方法を身につける。	学んだことを自分なりにまとめる。
成績評価	授業への取り組み・課題の提出 (20%) レポートの提出 (30%) 期末試験 (50%) 合計 100%			
教員からのコメント	カウンセリングマインドというのは、カウンセラーが相談に来た人の心に向き合うときに必要とされる基本的な態度です。子どもの心に向き合っただけでなく、保護者の心に向き合っただけでなく、保育者にもこのような態度が求められます。この授業を通じて、子どもや保護者の気持ちに寄り添ってかわることができる保育者を目指して欲しいと思います。			
教科書	書名 子どもとかわる人のためのカウンセリング入門 著者 西見奈子 発行所 萌文書林	推薦図書	書名 授業中に随時紹介する。 著者 発行所	